

# かいほ ジャーナル



愛します! 守ります! 日本の海

2024 | Vol. 96  
SPRING



機動救難士配置で北海道東部海域の救助・救急体制を飛躍的に強化

# 現場へ一刻も早く

特集 第二管区海上保安本部 釧路航空基地

海上保安庁  
JAPAN COAST GUARD

# かいほ ジャーナル

C O N T E N T S



Vol. 96

2024 SPRING

## PHOTO GRAVURE

- 1 「海上保安能力強化に関する関係閣僚会議」の開催
- 1 令和6年能登半島地震対応
- 2 MCT (Mobile Cooperation Team) 派遣100回
- 2 尖閣諸島周辺海域における中国海警局に所属する船舶の  
接続水域内確認日数が過去最多を更新
- 3 1月18日は118番の日
- 3 齊藤国土交通大臣による「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」  
特別賞(国土交通大臣賞)表彰式

**特集** 第一管区海上保安本部 釧路航空基地

## 4 現場へ一刻も早く

機動救難士配置で北海道東部海域の救助・救急体制を飛躍的に強化

## 12 NEWS FLASH

裏表紙

Information

目指せ海上保安官





Photo Gravure

## 「海上保安能力強化に関する 関係閣僚会議」の開催



関係閣僚会議の様子

令和5年12月22日、「海上保安能力強化に関する関係閣僚会議」が開催され、日本の海の安全を守り抜くため、巡視船・航空機等の増強、関係機関との連携強化、新技術の活用などの取組を一層進めていくことが確認されました。



発言する岸田内閣総理大臣



Photo Gravure

## 令和6年能登半島地震対応



ヘリコプターによる救急患者の搬送

令和6年1月1日午後4時10分頃、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7・6、最大震度7の地震を観測するとともに、各地で地震による津波も観測されました。その後も断続的に地震が発生し、これらの地震により、多くの家屋が倒壊し、孤立集落が発生するなど、石川県能登地方を中心に甚大な被害が発生しました。  
海上保安庁では、地震発生後、直ちに巡視船艇・航空機により、沿岸部の被害状況調査を行うとともに、航行警報等により付近船舶に対し情報提供を行いました。また石川県等からの要請に基づき、巡視船艇・航空機による救急患者等の搬送、支援物資の輸送や給水支援等を行っています。



給水支援の様子（石川県七尾港）



# MCT (Mobile Cooperation Team) 派遣1000回

令和6年1月、海上保安庁は太平洋島しょ国の海上保安当局との協力関係を強化する一環として、MCT (Mobile Cooperation Team) をミクロネシア連邦、マーシャル諸島共和国へ初めて派遣しました。両国においては、海面漂流者救助訓練や国際法に関する講義を行いました。今回の派遣をもってMCTは、平成29年に外国海上保安機関に対して能力向上支援を行う専門チームとして発足して以来、海外派遣が1000回に達しました。MCTの記念すべき1000回目の派遣が両国への初派遣となり、今後ともMCTの活動を継続していく決意を強くしたものとりました。



海面漂流者救助訓練の様子



マーシャル諸島共和国海上保安機関職員とMCT隊員



# 尖閣諸島周辺海域における 中国海警局に所属する船舶の 接続水域内確認日数が過去最多を更新

令和5年の尖閣諸島周辺海域における中国海警局に所属する船舶の接続水域内確認日数が過去最多の352日となりました。海上保安庁では、我が国領海に接近する中国海警局に所属する船舶に対し、領海に侵入しないよう警告を実施するとともに、領海に侵入する中国海警局に所属する船舶に対しては、領海からの退去要求や進路規制を繰り返して実施し、領海外へ退去させております。引き続き、我が国の領土・領海を断固として守り抜くという方針の下、関係機関と緊密に連携し、冷静に、かつ、毅然として対応を続け、領海警備に万全を期してまいります。



尖閣諸島周辺海域の領海警備に従事する巡視船



中国海警局に所属する船舶を監視する巡視船





Photo Gravure

# 1月18日は118番の日

海上保安庁は、海難や悪質・巧妙化する密輸・密航等の事犯に迅速かつ的確に対応するため、平成12年から緊急通報用番号「118番」を導入しています。

「118番」の正しい利用方法と重要性をより一層多くの方々に知っていただくため、平成22年度に毎年1月18日を「118番の日」と定めており、今年も全国で周知活動を行いました。



【大分】水族館での潜水士による118番周知活動



【横浜】ピカチュウが1日海上保安官体験！



令和6年118番周知用ポスター

## コラボレーション



【五管区】551 HORAI手提げ袋



【五管区】淡路屋ひっぱりだこ飯

## NET118

聴覚や発話に障がいがある方のためのインターネットを利用した緊急時の通報サービスである「NET118」の運用を令和元年11月から開始しています。

### 【NET118登録方法】

こちらの二次元コードを読み取る、もしくは、「entry@net118.jp」を直接あて先に入力し、空メールを送信、登録用メールが返ってくるので、案内手順に従い、事前登録をお願いします。



Photo Gravure

# 斉藤国土交通大臣による「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」特別賞(国土交通大臣賞)表彰式

海洋プラスチックごみ問題などが深刻化する中、海上保安庁では美しい海を未来に残すため、海洋環境保全に対する思想の普及を図っており、この一環として、平成12年から「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」を開催してきました。

24回目となる今年度は全国から16,700点の応募があり、小学校2年生の堀池勇輝さんが、最高賞となる特別賞(国土交通大臣賞)を受賞しました。これを受け、令和6年1月5日、国土交通省にて表彰式を執り行い、斉藤国土交通大臣より賞状が手渡されました。

次代を担う子供たちのためにも、きれいな海をずっと残せるよう、引き続き皆さんと一緒に海洋環境の保全に取り組んでまいります。



斉藤国土交通大臣から賞状を受け取る堀池さん



斉藤国土交通大臣との記念撮影

およそ1年前となる昨年4月、釧路航空基地に機動救難士9名が配置された。2機のヘリコプターを持つこの基地では従来、北海道東部海域を中心に警備救難業務を行ってきたが、ヘリコプターから降下して救難業務を行う機動救難士が配置されたことで、現場到着に要する時間が短縮され、救助・救急体制が充実した。

令和4年4月、知床半島沖で遊覧船が沈没した事故はまだ記憶に新しい。乗員乗客合わせて20名が死亡し、現在も6名が行方不明のまま。この事故を契機に海上保安庁はすぐさま釧路航空基地への機動救難士配置を決定。事故から1年後の令和5年4月に、9名の機動救難士を配置した。これにより北海道東部海域における救助・救急体制の強化が図られた。

### 知床遊覧船事故をきっかけに

「これまでも当基地のヘリコプターで人命救助に当たっていました。その場合は釧路海上保安部所属巡視船『えりも』の潜水士を同乗させて対応していました。このため釧路海上保安部から航空基地まで潜水士が移動しなければならず、どうしても出勤までに時間が掛かりました」と語るのは、釧路航空基地を率いる中村至宏基地長だ。釧路航空基地に機動救難士が配置されるひと月前の令和5年3月、この地に赴任した中村基地長だが、実は前任は第二管区海上保安本部総務部長であり、知床遊覧船事故の対応に直接関わつ

特集

第一管区海上保安本部 釧路航空基地

# 現場へ一刻も早く

機動救難士配置で北海道東部海域の救助・救急体制を飛躍的に強化

令和5年4月、釧路航空基地に9名の機動救難士が配置され事案発生時の即応能力は飛躍的に向上した日々訓練に勤しみ、いざという時に備える機動救難士とその活動を支える基地職員の姿を追う

取材・文／中島 敦（オンサイト）









機動救難士の“スピード”がもっとも活かされるのがヘリコプターからのリペリング降下だが、強風や雨といった悪条件下でも確実に降下するには高度な技術が求められる。海上・地上を問わず日々訓練を重ねて、機動救難士は24時間体制で出動に備える。



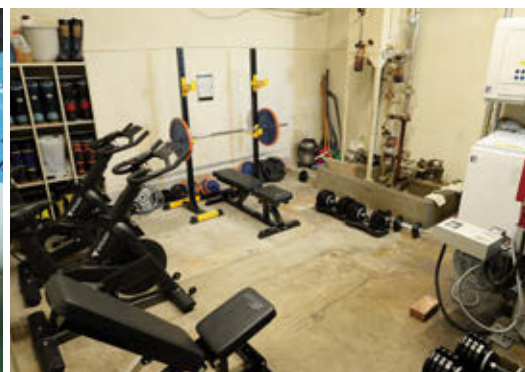
救難事案に迅速に対応する航空基地として新たな道を進み始めている。

### 職員の能力を引き出し 北海道東部海域を守る

「北海道の沖合は好漁場ですし、アメリカ方面を往來する船舶が多数航行する海域でもあります。重症患者の受け入れ可能な医療機関がある日本最東端の地はここ釧路ですから、漁船や大型船舶からの怪我や病気による救助要請は多い。ここに集まった機動救難士は誰もが、あの知床遊覧船の事故を重く受け止め、自ら望んで来た職員ですが、その中でも多くが即戦力となる、経験と実績を積んだ職員が選出されています」と中村基地長は言う。

同時に、運用するヘリコプターについても強化が進められている。釧路航空基地は現在ヘリコプター2機を運用しており、そのうち1機(MH755)は平成7年に就

格納庫ではヘリコプターの機体を活用してレスキュー訓練を実施している。また釧路航空基地は専用の訓練設備を持たないため、空きスペースを活用しトレーニングスペースを設けている。





「条件が悪くても出動できるよう  
スキルアップに努めていく」

操縦士 西出 光佑  
Nishide Kosuke



6年間副操縦士としてヘリコプターに乗り、昨年12月から機長になりました。改めて機長の責任と重圧を感じながら日々業務に取り組んでいます。航空基地としての業務そのものは変わりませんが、機動救難士が配置されたことで迅速性は格段に向上しました。それに合わせて機内のレイアウトも救難を重視したものに変わ、何がベストなのかを常に考えています。釧路空港は夏、非常に霧が多く発生するため、出発はしたものの帰路では着陸できずに他の空港に着陸する場合もあります。乗組員全員で無事に帰ることを第一に考えながら、常に100パーセントの力を出せるようにスキルを高め、悪条件下で出動できないというケースを減らしていきたいですね。

「機動救難士がいることで  
現場に即応する意識が高まった」

通信士 大庭 公貴  
Ota Kimitaka



知床遊覧船事故で最初に現場に向かいました。根室方面をしょう戒中に第一報を受け、10人以上が乗っている遊覧船が沈んだということで、これは大規模な事故だと気持ちが引き締まったことを覚えています。すぐに現場に駆け付けたかったのですが燃料も十分ではないし、しょう戒中で潜水士も乗っていませんでしたから、一度、基地に戻って改めて現場に向かいました。あの時せめて一人でも助けることができたらという気持ちは今も自分の中に残っています。通信士はコミュニケーションの要です。通信士のちょっとした伝え方次第で、機動救難士の動きもよりスムーズになりますから、誤解のない、先の読めるコミュニケーションを心掛けています。

## 機動救難士を支える若手の声

「航空機の運航を支える立場として  
緊張感を保ち続ける」

整備士 齋藤 翔一  
Saito Shoichi



両親共に海上保安官で、父がパイロットだったこともあり海上保安庁の航空に関わりたという気持ちがありました。特に航空通信と航空整備に興味があったので、海上保安学校ではそのどちらにも進むことができる情報システム課程に入り、結果として整備士への道を選びました。航空機の運航に直結する業務ですから、自分がひとつでも不具合を見逃してしまったら、という緊張感は常に抱えています。もちろん不具合は起こりうることで、その不具合に的確に、迅速に対応して、安全な運航を確実に支える整備士になることを、まずは目指しています。その上で航空員として上空からの写真撮影など、行ってみたいと思っています。

「幅広い視野と知識で  
救助の現場を支えていきたい」

副操縦士 東中 直人  
Higashinaka Naoto



副操縦士として心掛けているのは広い視野を持つことです。機長は乗組員と細かくコミュニケーションを取っていますが、いざ救助となれば操縦に集中しますし、吊上げではホイストマンや通信士も同様です。一步引いて現場を俯瞰し、客観的な視野を持つことが副操縦士の大切な役割だと思っています。機動救難士が来たことで吊上げ救助に特化した訓練も増えました。基地としてこれからどうなっていくのか。自分は今、興味深い時期を経験していると思います。今後さらに幅広い知識を持って、単なる操縦士としてではなく、海上保安官としての視野を持って現場に対応できる操縦士を目指しています。

役したもので、海上保安庁の中でもっとも古い機体であったが、令和6年2月に解役し巡視船「そらや」に搭載されている機体が配属された。さらに函館航空基地からも、ひと世代新しい機体が配属されることになっており、令和5年度末にはヘリコプター3機での運用体制が整う予定となっている。

「ヘリコプターは3機あったら3機ともいつでも飛べる、というものではありません。実際、知床遊覧船事故のときも、2機あるうちの1機は整備中で飛ばせませんでした。今後は3機体制となり、これまでより柔軟な対応が可能となります。北海道東部海域の救助・救急体制を強化していくこと。その期待に応えなければいけないという思いです」

「そのためにも……」と中村基地長は言葉を探した。

「今うちにいる職員は誰もが皆、仕事もできるし能力もあります。そのひとりひとりが存分に力を発揮できること。結局はこれに尽きるのではないのでしょうか。私が現場組織のトップになったのは、根室海上保安部で巡視船『さろま』の船長を務めたときが最初ですが、その時から考えていることは今でも変わりありません。職員が元気に、生き生きと働けることを考え、日頃から風通しの良い、「コミュニケーションの取れる環境作りを心がけています」

ヘリコプターによる訓練前のブリーフィング風景。訓練の狙いや内容、段取りなどを確認する。



人員は増えたが、飛行科、整備科、通信科がワンフロアに揃い、連携は十分。





## 現場に駆け付け めざしていた救助を实践

「巡視船の潜水士を経験し、より多種多様な海難現場で活躍したいという気持ちで機動救難士になりました。巡視船で現場に到着するにはどうしても時間がかかります。ヘリコプターで現場に急行する機動救難士となり、やはり自分はこれがやりたかったんだと実感しています。北海道東部海域に機動救難士が来たんだと国民の皆さんに安心してもらい、安全に過ごしていただきたい。それだけです」



中澤 悠人 Nakazawa Yuto  
機動救難士  
救急員



大井 泰平 Oi Taihei  
機動救難士  
救急救命士



本内 亮太 Motouchi Ryota  
機動救難士  
救急救命士

## 釧路航空基地に集まった 9名の機動救難士

## 上席機動救難士と若手隊員を繋いで 自分が重ねてきた経験を残していく

「特殊救難隊在籍時、国際緊急援助隊としてメキシコに派遣されたこともあります。上席機動救難士と隊員を繋ぐ役目を果たすと同時に、これまでの経験を若い世代に繋いでいきたいと思います。ここは他の基地と比べても急患搬送などで出動する数も多く、地域から必要とされているという実感があります。オレンジの制服を着ている以上、若手に負けるわけにはいきません。共に訓練に励み、精進していきます」

## 「まだ見ぬ要救助者」を 助ける基盤を築いていく

「まだオレンジ服を着たばかりの時に隊長が現場で全体をコーディネートしている姿を見て、自分もそういう機動救難士にならなければと痛感しました。現場は毎回毎回、初めての経験です。限られた時間の中で取捨選択しながら次のアクション、その次のアクションを予測し、想定外のことが起こっても想定内に完結させなければなりません。また、結局自分が現役で救助できる人の数は限られています。だからこそこの仕事の大切さややりがいを後輩に伝えていくことで、「まだ見ぬ要救助者」を救う基盤を築いていきます」

# 北海道東部 海域 を守る！

## 知床のことを忘れず、 北海道東部海域を守る

ヘリコプターで現場に駆け付け、リペリング降下して救助・救急活動にあたる機動救難士には、荒れた海上で激しく動揺する漁船に乗り込むなど、高度な技術が求められる。現場で潜水作業やロープを使用した吊上げ・吊り降ろし作業を行うこともあり、救急救命士であれば医療機関に搬送されるまでの間、救急救命処置を施して要救助者の生命を守る。

釧路航空基地の機動救難士を率いる神谷高仁上席機動救難士は、救急救命士の資格を持つ。前任は釧路海上保安部の巡視船「えりも」の潜水士で、知床遊覧船事故では釧路



上席機動救難士  
神谷 高仁 Kamiya Takahito  
上席機動救難士  
救急救命士



「我々を迎えるにあたり、基地の方々がとても手厚く受け入れ、支援してくれたことに助けられています。機動救難士は2名1組、現場で救助を完結させなければいけないので、その時々で色々考えたり応用したりと様々なスキルが求められますが、常に意識しているのは「要救助者にとっての最善」を追求することです。自分は本来、とても慎みな性格なので、何に対しても不安だし準備ばかりしていますが、そういう準備が現場で役立つことも多々あります。これからも初心を忘れずに謙虚に頑張っていこうと思います」

「要救助者にとっての最善」を常に念頭に



阿萬野 礼央 Amano Reo  
機動救難士 救急員



前田 諒 Maeda Ryo  
機動救難士 救急員

海の安全を守るために 若い後輩達に手を挙げてもらいたい

「現場の活動では私たちが注目されるかもしれませんが、陸上のオペレーションや巡視船からの支援など、多くの海上保安官の存在があって初めて私たちが活動できるということを忘れてはなりません。また、自分には事故は起こらないと思っている方もおられるかもしれませんが、海の危険は誰にでも襲い掛かるということを十分に理解していただければと思います。最近、潜水士や機動救難士をめざす若手が少なくなっている中で、私たちの活動を見て、若い後輩達が手を挙げてくれることに期待しています」

当たり前前にも思えることを常に疑い さらに良い方法を探す



小西 創也 Konishi Soya  
機動救難士 救急員

「岸壁で訓練している時など、「がんばってるね」と声をかけてくださる人もいます。機動救難士がいれば安心だと思われるように、もっともっと地域の人々から認められる存在になりたいですね。機動救難士は自分がこれまで培ってきた経験を生かす場ですが、同時に常にスタンダードを疑い、更新することも意識しています。代々受け継がれていることや教わったことでも、必ず1回は疑ってかかり、自分の頭で整理し、さらに良い方法はないか検証する。これからもこのスタイルで取り組んでいきます」

航空基地のヘリコプターに乗り込んで捜索救助にあたった。

「あの時は乗客名簿を見ながら救助プランを検討しましたが、海は時化していたし、小さいお子さんもいる。寒さの厳しい知床で、これは時間との戦いになると気を引き締めました」

その思いは集まった隊員も変わらず、皆、知床遊覧船事故を踏まえ、釧路航空基地配属を希望したといい、「高い志を持つ頼もしい存在」と神谷上席機動救難士も信頼を寄せる。

北海道では航空機を活用する救助機関の多くが道央圏に集中している。

「海溝型地震も懸念される地域に、我々がここにいる意義は何なのか？ 紋別海上保安部に配属された大型巡視船との連携訓練や、自治体や消防、警察との連携をより密なものにしながら、北海道東部地域の救助・救急体制を盤石なものにする。それが我々の使命です」

「まだまだ機動救難士として現場でやる自信がある中で陸上勤務をしていましたが、知床の事故を受けて機動救難士が配置されることになり、自分が行くしかないと思いました。いきなり沖縄から来たのもう正反対のことばかり。向こうではいつも暑さ対策を考えていましたが、こちらでは保温であるとか、寒さ対策がとにかく大切です。日頃から職場の皆と積極的にコミュニケーションを取ることで、何でも言葉にできる雰囲気を作っていきたいですね。微かな違和感を感じ、口にする。これが大事だと思います」

コミュニケーションを大切に 違和感を見逃さないで



安岡 翔風 Yasuoka Hayate  
機動救難士 救急員



倉 幸永 Kura Koei  
機動救難士 救急員

現場に駆け付けたい 一日も早くオレンジ服を身に着け

「機動救難士は入庁して潜水士になってから、ずっと目指していました。釧路航空基地に希望を出し、この9ヶ月間は研修中です。先輩方の活動を見ながら訓練を重ね、一日も早くオレンジ服を身に着けたいと思っています。先輩方が飄々と簡単にこなしていることでも、自分がやってみると大変なことばかり。常に最適な選択肢を選ぶ難しさを実感するとともに、先輩方の引き出しの多さに感銘を受けています。「こいつなら任せられる」と信頼され、早く現場に駆け付けたいです」





# 釧路航空基地

釧路航空基地は釧路市中心部から北西約22km、標高約95mの丘陵地に位置する釧路空港の一角にあります。ヘリコプター2機を擁し（令和6年2月末現在）、主に北海道の東側の警備救難業務を担っています。

## 釧路航空基地 沿革

昭和53年10月	第一管区海上保安本部の事務所として開設
昭和54年1月	追加配備により回転翼航空機（ヘリコプター）2機体制に（ベル212型2機体制）
平成元年12月	格納庫移設
平成24年3月	函館航空基地からシコルスキーS76C型1機配属替（ベル212型、シコルスキーS76C型 各1機体制）
平成27年3月	函館航空基地からシコルスキーS76C型1機配属替（シコルスキーS76C型 2機体制）
平成28年3月	新庁舎増築及び既存庁舎の改築
令和6年2月	釧路海上保安部からシコルスキーS76型1機配属替（シコルスキーS76C型 2機体制）

## 職員構成

全体	47人
飛行科	8人
整備科	18人
通信科	5人
機動救難士	9人（上席1名を含む）

## ■ 気象概況

釧路地方は春から夏にかけての海霧、冬の酷寒や凍結など、気象条件が厳しい環境です。霧によって航空機の離発着が制限されることも少なくありません。また年間を通じて気温・海水温が低いため、救難業務は時間との戦いになります。

### 霧の発生状況（令和4年）

年間霧日数	釧路	小樽	東京
	80日	12日	0日

### 気温の比較（令和4年）

年間平均	釧路	小樽	東京
	7.9℃	9.6℃	16.4℃
最低気温	釧路	小樽	東京
	-17.6℃	-10.9℃	-3.5℃



機動救難士の配置を受け、令和5年6月4日には発足式が行われました。



# 所属航空機

釧路航空基地には、令和6年2月末時点で、中型回転翼航空機シコルスキーS76C型2機が配備され、訓練や研修を計画的に実施することにより、運航及び整備に係る知識と技能の維持・向上を図っています。



## ■型式・性能等

	MH904	MH909
就役	平成10年10月	平成19年4月
型式	S76C型	S76C型
自重	3,850kg	3,850kg
速力	145kt(約268km/h)	145kt(約268km/h)
機齢	25年	16年

※令和5年度末には、3機体制となる予定。

## ■装備品

- ・ホイスト装置（吊上げ救助装置）
- ・FLIR（赤外線搜索監視装置）
- ・ヘリコプター画像伝送設備機上装置

MH904(しまふくろう2号)

## ■主要業務の状況（急患搬送・大規模災害への対応）

### 大規模災害・海難事故に備えた関係機関との連携

道東ドクター・ヘリ関係者との意見交換	令和4年8月
根室市総合防災訓練	令和4年8月
釧路市総合防災訓練	令和4年9月
市立釧路総合病院HP離着陸訓練	令和4年10月
稚内旅客船事故対応訓練	令和4年11月
紋別旅客船事故対応訓練	令和4年11月
機動救難士発足式（展示訓練）	令和5年6月
釧路市総合防災訓練	令和5年9月
釧路空港航空機事故消火救難医療総合訓練	令和5年10月

### 急患搬送 令和4年1月～令和5年9月（14件）

※機動救難士のみ対応

十勝沖	外国籍貨物船	病気（令和4年1月）
納沙布岬南方沖	外国籍コンテナ船	負傷（令和4年4月）
納沙布岬南東沖	外国籍漁船	負傷（令和4年5月）
十勝沖	日本籍調査船	病気（令和4年6月）
釧路沖	外国籍冷凍運搬船	負傷（令和4年8月）
納沙布岬東方沖	外国籍漁船	病気（令和4年9月）
襟裳岬東方沖	外国籍貨物船	病気（令和4年9月）
納沙布岬東方沖	外国籍漁船	負傷（令和4年9月）
納沙布岬東方沖	日本籍コンテナ船	負傷（令和4年10月）
釧路沖	日本籍漁船	病気（令和4年10月）
釧路沖	外国籍旅客船	病気（令和5年6月）
釧路沖	外国籍漁船	負傷（令和5年8月）※
納沙布岬東方沖	外国籍貨物船	負傷（令和5年8月）※
納沙布岬東方沖	外国籍客船	病気（令和5年9月）※

## ■知床遊覧船事故対応

令和4年4月23日午後1時13分頃、第一管区海上保安本部では、知床半島沿岸沖を航行中の遊覧船「KAZU I」の海難情報を受け、巡視船艇・航空機等を発動し、対応にあたりました。釧路航空基地では所属航空機による搜索救助活動に加え、派遣航空機の拠点として早朝から夜間に及び搜索航空機に対する運航支援、派遣航空機の乗組員、特殊救難隊、機動救難士に対する地上支援及び安全管理に総力を挙げて対応しました。



知床岬沖での巡視船による搜索状況



海岸付近の搜索状況



所属機と派遣機、合計で最大6機を運用



# NEWS FLASH



12月

17日 八管区 | 宮津保安署  
宮津田井海まちフェスタ  
～ご当地ゆるキャラ大集合!!～



18日 本庁 | 教育訓練管理官  
海上保安政策プログラム9期生  
斉藤国土交通大臣表敬



26日 七管区 | 若松保安部  
わくわく灯台塾



27日 一管区 | 千歳基地  
うみまるとゆきだるま



12日 三管区 | 本部  
海上保安資料館横浜館の来館  
者数が400万人を突破



14日 五管区 | 本部  
警備救難競技大会



5日 九管区 | 新潟基地  
こども園園児による基地見学



8日 七管区 | 大分保安部  
相互協力協定に基づく  
九州電力との資機材輸送訓練



9・10日 二管区 | 本部  
5年ぶり!巡視船「ざおう」  
職場体験クルーズ開催







18日 六管区 玉野保安部  
尼神インター渚さんと  
118番周知活動



10日 大校  
令和5年度耐寒訓練開始!



6日 四管区 本部  
プロバスケットチーム試合会場  
での118番周知活動



1日 四管区 本部  
中学生が鑑識業務を職場体験



13日 二管区 本部・宮城保安部  
仙台うみの杜水族館での  
118番周知活動



8日 十管区 鹿児島保安部  
巡視船「ゆみはり」  
新春一般公開&年頭訓練



10日 五管区 高知保安部  
足摺岬灯台一般公開



13日 六管区 松山保安部  
松山海上保安部訓練始め・  
海上保安大学校と合同制圧訓練



9日 七管区 佐世保安部  
巡視船「あまみ」解役式



10日 十一管区 本部  
測量船「光洋」一般公開



16日 学校 門司分校  
船艇職員等初任者課程  
第90期入校式





# 目指せ海上保安官

海上保安庁では、当庁職員養成機関である海上保安大学校及び海上保安学校の学生を募集しています。

「海上保安官採用サイト」では、各採用試験に関する情報のほか海上保安官の職種紹介、学生・職員の声やオンライン説明会など様々な情報を掲載しています。

あなたも海上保安官として活躍してみませんか？



■海上保安官採用サイト <https://www.kaiho.milt.go.jp/recruitment/>



## 2024年度採用試験日程

海上保安大学校	本科	海上保安大学校学生採用試験 <input type="checkbox"/> 受付期間／8月22日(木)～9月4日(水) <input type="checkbox"/> 第1次試験日／10月26日(土)及び10月27日(日) <input type="checkbox"/> 受験案内配布時期／6月12日(水)～	試験の対象・フンポイントなど	高卒程度 卒後2年未満 幹部海上保安官になる
	初任科	海上保安官採用試験 <input type="checkbox"/> 受付期間／2月22日(木)～3月25日(月) <input type="checkbox"/> 第1次試験日／5月26日(日) <input type="checkbox"/> 受験案内配布時期／2月1日(木)		大卒程度 30歳未満 大卒から幹部海上保安官になる
海上保安学校	2024年 10月入校	海上保安学校学生採用試験(特別) <input type="checkbox"/> 受付期間／2月22日(木)～3月11日(月) <input type="checkbox"/> 第1次試験日／5月12日(日) <input type="checkbox"/> 受験案内配布時期／2月1日(木)～	試験の対象・フンポイントなど	高卒程度 卒後13年未満 現場第一線の海上保安官になる
	2025年 4月入校	海上保安学校学生採用試験 <input type="checkbox"/> 受付期間／7月16日(火)～7月25日(木) <input type="checkbox"/> 第1次試験日／9月22日(日) <input type="checkbox"/> 受験案内配布時期／6月12日(水)～		高卒程度 卒後12年未満 現場第一線の海上保安官になる
	有資格者	海上保安官(有資格者)採用試験 <input type="checkbox"/> 受付期間／(第1回)6月頃 (第2回)10月頃 <input type="checkbox"/> 第1次試験／(第1回)7月頃 (第2回)11月頃 ※詳細な日程、受験資格等については、受付開始の2週間前を目途に、ホームページに掲載する予定としております。		<採用職種> 航海、機関、通信・技術、飛行、整備、航空通信

### 入学すると...

国家公務員としての身分が与えられ、毎月給与や年2回の期末・勤勉手当が支給されます。また、国土交通省共済組合員としての社会保障を受けることができます。入学金・授業料は一切不要です。また、学生生活に必要な制服や寝具等はすべて貸与されます。

### 問い合わせ先

#### 学校採用試験関係(海上保安大学校・海上保安学校)

- 海上保安庁総務部教育訓練管理官付試験募集係
- TEL: 03-3580-0936

#### 有資格者採用試験関係(海上保安学校門司分校)

- 海上保安庁総務部人事課任用係
- TEL: 03-3591-6361(内線2540～2542)



## 海上保安庁

〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3  
Tel.03-3591-6361



採用担当X  
[https://x.com/@JCG\\_saiyou](https://x.com/@JCG_saiyou)

